まって大きな株にまとまっています。幹の内部には空洞があり、胸高幹囲は全幹まとめて 7.8m、主幹群のみで 5.8m です。支幹の幹囲も 1.23m ～ 1.65m あり、県内最大のナギといわれ、雌株で秋には結実します。

穴権現社叢（あなごんげんしゃそう）

三重町大白谷　昭和47年3月21日指定

三重町白谷区白山神社奥の穴権現社は、黒岳の急斜面にあり、周囲は自然林に覆われています。岩角地にはユズ・カヤ・クスドイゲ・ナンテン・オオクサボタン等を伴う石灰岩地特有のアラカシ林があります。また、谷の堆積斜面には、高・亜高木層にイヌマキ・ヤブツバキ・カゴノキなど、低木層にアオキ・イヌガヤ・コショウノキなどがあり、草本層はヒメカナワラビ・イノモトソウ等で構成されています。

鹿毛のスダジイ原生林

三重町中津留　昭和48年3月20日指定

中津留区鹿毛の愛宕社の社叢で、スダジイを主体とした自然林です。高木層はスダジイが優占種で、亜高木層はヤブツバキ・カゴノキ・イスノキなどがあります。低木層はネズミモチ・ヒサカキなどの一層とヤブコウジの二層に分かれ、草本層はナガバジャノヒゲがあります。内陸部に少ないスダジイ林として貴重な自然林です。

内田神社のイチイガシ

三重町内田　昭和53年3月31日指定

内田区内田神社の境内にある神木のイチイガシの巨樹です。樹齢は推定 800 年、胸高幹囲 5.2m、樹高約 30m、樹形は整っておりブナ科の常緑樹であるイチイガシの特性を発揮しています。南側の株元に口径 90cm 程の空洞がありますが樹盛は旺盛です。

御嶽の原生林

清川町宇田枝　昭和37年2月27日指定

御嶽山の山麓にある原生林です。ウラジロガシ＝サカキ群集やアカガシ＝ミヤマキリシマ群集など、学術的にも貴重な山林が残されています。

健男社のスギと自然林

緒方町上畑　昭和52年3月31日指定

健男社は緒方町上畑の標高 450m の山麓に位置します。参道には杉の巨木が並木をつくり、神殿の背後地にはモミの巨木を優占種とする自然林が残されています。近年林業開発により消滅が進むモミ林の貴重な残存林として学術的価値の高い林です。



健男社の杉並木

奥祖母のオオダイガハラサンショウウオ

市内祖母・傾山　昭和33年3月25日指定

有尾両生類のサンショウウオ科に属し、山地の渓流にすみ、大分・宮崎・熊本各県の祖母傾山系に生息します。体長は 15 ～ 18cm で背面は灰黒色で紋はなく腹面は赤紫色です。近年、ソボサンショウウオとして新種認定されています。

矢形神社の境内林

大野町安藤　昭和49年3月19日指定

大野町安藤地区にある矢形神社境内にウラジロガシとイチイガシをそれぞれ優占種とする林が残されています。ウラジロガシは巨樹が 1 本であるが林冠を覆い、高木層から草木層の優占種ウラジロガシ - カゴノキ - クロキ - ヤブコウジ - シャガで代表される林分があります。またイチイガシ林はイチイガシ - タブノキ - クロキ - ヤブコウジ - シャガで代表される林分であり常緑広葉樹林として貴重です。

(9) 大分県選択無形民俗文化財

緒方町の千盆搗

緒方町下自在　昭和51年3月30日選択

千盆搗とは、溜池の新築・改修時に行う地固めや

井路の漏水箇所に赤土を塗り込む際の作業が芸能化したものです。作業を指揮する「木遣(きや)り」は作業工程ごとに違う「木遣り唄」を唄い、その調子に合わせて「搗手(つきて)」「盛手(もりて)」が作業を行っていきます。作業は細かく区分されており土を踏んだり練ったりといった重労働をこなします。この芸能は土木工事がまだ人力によっていたころの習俗を伝える歴史的にも貴重な芸能です。

柴山八幡社のひょうたん祭

千歳村柴山　昭和37年2月27日選択

千歳町柴山八幡社で12月に行われる霜月祭(しもつきさい)で、その神幸行列に立つ祭です。その主役であるひょうたん様は、緋色の装束をまとって、長さ1mを超す大わらじを履き、頭には60cmの長ひょうたんをかぶるという出で立ちであらわれます。腰に下げたひょうたんから無病息災となる御神酒を振る舞いながら参道をねり歩く姿から天下の奇祭と呼ばれています。



参道をねり歩くひょうたん様

(10)豊後大野市指定有形文化財:建造物

名　称	所在地	備　考
輪蔵	三重町内山	18世紀再建
吉祥寺薬師堂	三重町松尾	江戸後期再建
石造宝塔(下赤嶺宝塔)	三重町赤嶺	康永4(1345)年
石造多層塔	三重町赤嶺	文永11(1274)年
円福寺石幢	三重町上田原	明応3(1494)年
白泉寺石幢	三重町中津留	永正12(1515)年
石造宝篋印塔	三重町大白谷	延徳4(1492)年
川辺石幢	三重町川辺	室町時代
正福寺宝篋印塔	三重町上田原	室町時代
宮山石幢	三重町百枝	元亀3(1572)年
瀬戸谷宝塔	三重町松尾	応安6(1373)年
植松石幢	三重町久田	永禄13(1570)年
大楽寺宝塔	三重町久田	室町時代
代多層塔	三重町奥畑	室町時代
西岸寺石幢	三重町久田	南北朝時代
妙照院宝篋印塔	三重町赤嶺	永禄10(1567)年
浄運寺一石五輪塔	三重町内田	室町時代
中小坂石幢	三重町小坂	室町時代
並石石幢	三重町鷲谷	永正14(1517)年
脇清水石幢	三重町宮野	室町時代
正福寺天文宝篋印塔	三重町上田原	室町時代
辻宝塔	三重町向野	室町時代
五重塔	三重町内山	室町時代
中小坂無縫塔	三重町小坂	室町時代
慈雲庵石幢2号	三重町秋葉	室町時代
平野石幢1号	三重町秋葉	室町時代
平野石幢2号	三重町秋葉	室町時代
下赤嶺石幢	三重町赤嶺	永正10(1513)年
慈現庵石幢	三重町小坂	室町時代
森迫石幢	三重町井迫	天正9(1581)年
大無礼板碑	三重町伏野	大永8(1528)年
荒谷石幢	三重町奥畑	室町時代
黒木石幢	三重町上田原	室町時代
久部層塔	三重町大白谷	室町時代
間所石幢	三重町井迫	室町時代
地蔵原石幢	三重町小田	永禄9(1566)年
千人塚宝塔	三重町小田	南北朝時代
平野石幢	三重町伏野	室町時代
萩田家宝篋印塔	清川町宇田枝	室町時代

名　称	所在地	備　考
萩田家五輪塔	清川町宇田枝	室町時代
野仲家石幢	清川町左右知	永正6(1509)年
ロン地石幢	清川町左右知	室町時代
宮津留石幢	清川町六種	室町時代
宇田枝石幢	清川町宇田枝	室町時代
後藤家板碑	清川町臼尾	宝永2(1705)年
中の原石幢	清川町三玉	室町時代
下田家五輪塔	清川町左右知	永禄年間
宝生寺石幢	清川町宇田枝	室町時代
宝生寺石塔	清川町宇田枝	元徳2(1330)年他
普門寺山門	清川町六種	江戸時代中期
内平石塔群	清川町伏野	室町時代他
深谷橋	清川町左右知	江戸時代末期
天然橋	清川町宇田枝	大正10(1921)年
岩上橋	清川町宇田枝	大正8(1919)年
内平宝篋印塔群	清川町伏野	永正16(1519)年
長古の墓	清川町宇田枝	文化11(1814)年
八方鳥居	清川町三玉他	文政2(1819)年他
城山石幢	緒方町越生	元亀2(1571)年
大化宝篋印塔	緒方町大化	文和2(1353)年
井上宝篋印塔	緒方町井上	天文4(1535)年
小野五輪塔	緒方町鮒川	南北朝時代
大化五輪塔	緒方町大化	南北朝時代
明王寺宝篋印塔	緒方町栗生	永享7(1435)年
堂内宝塔	緒方町小原	永享9(1437)年
小野崎板碑	緒方町越生	元亀2(1571)年
馬背畑宝篋印塔	緒方町馬背畑	室町時代
馬背畑宝塔	緒方町馬背畑	文保2(1318)年
上畑地蔵尊	緒方町上畑	明応5(1496)年
草深野薬師道標	緒方町草深野	文政5(1822)年
小宛古畑一里塚	緒方町小宛	江戸時代
野仲二里塚	緒方町鮒川	江戸時代
天神三里塚	緒方町天神	江戸時代
久土知二里塚	緒方町久土知	江戸時代
寺原楠ノ木一里塚	緒方町寺原	江戸時代
木野道標	緒方町木野	江戸時代
岳川板碑	朝地町綿田	正慶元(1332)年
御廟様石幢	朝地町池田	室町時代
小野五輪塔	朝地町上尾塚	文明8(1476)年
堂本石幢	朝地町梨小	天文18(1549)年
サヤノ木宝塔	朝地町池田	応永21(1414)年
サヤノ木宝篋印塔	朝地町池田	応永21(1414)年

名　称	所在地	備　考
池在石橋	朝地町池田	大正13(1924)年
豊前坊石造物	朝地町下野	宝暦5(1755)年
瀬口板碑	朝地町池田	延徳2(1490)年
姫塚板碑	朝地町志賀	永正9(1512)年
方碑	朝地町坪泉	大永5(1525)年
西蓮寺宝塔塔身	朝地町朝地	大永7(1527)年
池田石橋	朝地町池田	大正12(1923)年
平井庚申板碑	朝地町下野	天正6(1578)年
千字クルス	朝地町市万田	江戸時代
道祖神現社殿	朝地町宮生	昭和4(1929)年改修
道祖神鳥居	朝地町宮生	明治12(1879)年
普光寺護摩堂	朝地町上尾塚	享保9(1724年)
妙見橋	朝地町朝地	明治37(1904)年
大恩寺五輪塔台座	朝地町板井迫	応永13(1406)年
城久保石幢	朝地町栗林	天文18(1549)年
平良平宝篋印塔	朝地町栗林	永禄3(1560)年
一万田氏墓碑・供養碑	朝地町池田	室町時代
朝地橋	朝地町朝地・坪泉	大正12(1923)年
市万田橋	朝地町市万田	大正14(1925)年
樋口宝篋印塔・石仏塔群	朝地町下野	至徳4(1387)年
中渡橋	朝地町下野	平成12(2000)年移設
門の板碑	大野町夏足	天文3(1534)年
塚ノ元板碑	大野町北園	天文7(1538)年
東平宝篋印塔	大野町小倉木	永和2(1376)年
妙見宝篋印塔	大野町矢田	正平23(1368)年
荻迫石幢	大野町夏足	室町時代
第一古殿橋	大野町北園	文化14(1817)年
宮田の笠塔婆	千歳町柴山	天文9(1540)年
鹿合田の角笠塔婆	千歳町柴山	天文3(1534)年
米山の笠塔婆	千歳町船田	永禄3(1560)年
石五道の板碑	千歳町長峰	貞和5(1349)年
石五道の石幢	千歳町長峰	大永6(1526)年
岡の笠塔婆	千歳町新殿	永禄4(1561)年
楠の宝塔	千歳町石田	室町時代
杉ノ本の宝塔	千歳町柴山	南北朝時代
福生寺薬師堂境内宝篋印塔	千歳町前田	正平18(1363)年
大乗寺境内宝篋印塔	千歳町新殿	至徳2(1385)年
長慶寺跡八仏笠地蔵	千歳町長峰	長禄4(1460)年
五郎丸の板碑	千歳町石田	明応2(1493)年
上津留の石幢	千歳町下山	室町時代

名　称	所在地	備　考
漆生の笠塔婆	千歳町下山	永禄4(1561)年
日向久保の宝篋印塔	千歳町柴山	永徳2(1382)年
峯の笠塔婆	千歳町柴山	永禄6(1563)年
藤原の板碑	千歳町柴山	永正9(1512)年
上ノ久保の石幢	千歳町船田	弘治3(1557)年
高添上の板碑	千歳町長峰	天文8(1539)年
久保山の宝篋印塔	千歳町石田	南北朝時代
大木の宝塔	千歳町下山	永禄5(1562)年
下ノ原の道標	千歳町長峰	江戸時代
妙覚寺山門	千歳町柴山	江戸時代
九品寺跡石幢及び五輪塔群	犬飼町栗ヶ畑	文安2(1445)年
黒松宝篋印塔	犬飼町黒松	南北朝時代
高津原石幢	犬飼町高津原	天文18(1549)年
親綱宝篋印塔	犬飼町柴北	長禄3(1459)年
大聖寺五輪塔	犬飼町柴北	南北朝時代
愛宕石幢	犬飼町柴北	永禄4(1561)年
六ツ子庵石幢	犬飼町柴北	室町時代
石井宝篋印塔	犬飼町田原	康暦3(1381)年
上重宝篋印塔	犬飼町田原	室町時代
下野熊埜社鳥居	犬飼町下津尾	天文7(1538)
下野宝篋印塔(上)	犬飼町下津尾	室町時代
下野宝篋印塔(下)	犬飼町下津尾	室町時代
千世橋	犬飼町下津尾	明治12(1879)年
佐土原石幢	犬飼町大寒	天正4(1576)年
武藤家長屋門	犬飼町長畑	江戸時代後期
虎御前宝篋印塔	犬飼町高津原	文和3(1354)年
神宿橋	犬飼町柴北	大正10(1921)年
黒松阿蘇社鳥居	犬飼町黒松	南北朝時代
千束石幢	犬飼町黒松	室町時代
釈迦堂宝篋印塔	犬飼町田原	室町時代
両村橋	犬飼町柴北	昭和14(1939)年
田原十一面観音像	犬飼町田原	弘化3(1846)年
大聖寺五輪塔群	犬飼町柴北	正中2(1325)年

(11)豊後大野市指定有形文化財:美術工芸品

名　称	所在地	備　考
絹本彩色 菅原道真像	三重町井迫	江戸時代初期
正龍寺 方便法身尊像	三重町市場	永正4(1507)年
長古絵図	清川町宇田枝	弘化2(1845)年
岡藩絵図	緒方町鮒川	江戸時代
五月のぼり	緒方町柚木	明治5(1872)年
犬飼港図	三重町内田	江戸時代末期
木造駒犬	三重町赤嶺	鎌倉時代?
蓮城寺千手観音像	三重町内山	鎌倉時代?
木造阿弥陀如来像	三重町市場	鎌倉時代?
金剛力士像	三重町内山	江戸時代初期
木造金剛力士像	三重町松尾	鎌倉時代
中津無礼 聖観音立像	三重町伏野	室町時代
大無礼 延命地蔵菩薩坐像	三重町伏野	室町時代
吉祥寺観音立像	三重町松尾	平安時代
十一面観音坐像	清川町宇田枝	寛文3(1663)年
聖観世音菩薩像	緒方町小宛	南北朝時代
木下磨崖仏	大野町十時	南北朝時代
大聖寺聖観音像	犬飼町柴北	室町時代
大聖寺達磨像	犬飼町柴北	江戸時代初期
大聖寺弁財尊天像	犬飼町柴北	江戸時代
三猿	三重町内山	江戸時代中期
蒔絵文箱	三重町松尾	江戸時代
脇差(豊行)	三重町市場	江戸時代初期
刀(行長)	三重町市場	江戸時代初期
刀	三重町市場	江戸時代初期
火縄銃	緒方町馬場	
印籠	緒方町軸丸	江戸時代
小宛焼	緒方町小宛	江戸時代
上津神社金幣	大野町片島	永禄9(1566)年
内山記	三重町内田	享保10(1725)年
衛藤家文書	三重町中津留	室町時代
臼杵藩三重郷灰立山御救山文書	三重町内田	嘉永5(1852)年
加藤家古文書	清川町左右知	室町時代
三代文書	緒方町久土知	室町時代
首藤文書	緒方町寺原	室町時代
田北文書	緒方町寺原	室町時代
工藤文書	緒方町上畑	室町時代
合沢文書	緒方町上自在	室町時代